

心つないで

No. 1 3

発行

2011年7月19日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本体内 Tel 078-802-3424)

夏の日差しの中、仮設住宅訪問続く

～ 第2陣 塚本看護師、大倉組員活動支援担当 ～

- 第2陣の、塚本看護師・大倉組員活動支援担当が無事、帰神



7/11から15日まで、塚本看護師と大倉組員活動支援担当が第2陣として大船渡へ行き、無事帰りました。

連日、30℃以上の猛暑のなか、仮設訪問を行いました。被災され仮設に移って来られた方たちは、熱をもった砂利道や坂道を買物袋を提げて歩くのもほんとに辛そうです。無料のシャトルバスがあれば・・の声もあり、ミーティングではごみステーション増設、集会室活用による自治組織づくり等の要望を伝えました。(以上、大倉さんのレポート)



- 7/19からは、第3陣として、松元看護師(灘診)、田村組員活動支援担当の2人が大船渡に向かいます。現在、10月以降の参加希望者を募っています。希望の方は、管理者まで。また、他の友誼生協の方からも、一緒に参加したいとの申し出を受けています。長く、深く をモットーに支援を継続していきます。

8/5-8「神戸においでよ！福島っ子プロジェクト」の実施

- 福島第一原発事故で、現在も大変な毎日を過ごす、福島の子どもたち(私たちと交流のある、福島中央市民医療生協の職員の子どもさん)を神戸に招いて、3泊4日をゆっくり過ごしてもらい、心身をリフレッシュしてもらうという企画です。
- 少しでも楽しいものにするため、現在、本部・震災対策本部と組員活動支援部で受入れ準備をすすめています。この企画には、神戸学生青年センターさんや、アトリエ太陽の子の中嶋洋子さんなど、内外のいろいろな方の協力が寄せられています。職員のみなさんにも個別にお願いするかと思いますが、よろしくご協力下さい。

原発セミナー

■ 8月6日(土)PM2

■ シマブンホール

■ 「福島原発事故と日本のエネルギー政策」